



だいじょうぶ。ともにあるこう。

(2022.1.1)

三鷹市議会議員

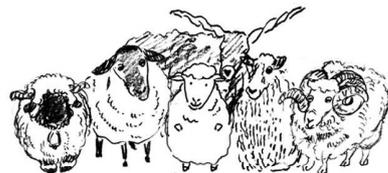
# 野村 のむら ようこ 羊子

と いっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.145



## 2022年は、支え合う年へ

### 野村羊子



昨年はコロナに明け暮れた年でした。感染症の影響というよりも、感染対策の被害とでもいうような状態があちらこちらに見受けられます。コロナ感染症のフェーズが変わってくる中で、コロナ後をどう見通すかが問われていくのではないのでしょうか。

自粛とステイホームが繰り返され、身も心も縮こまる中で強行された東京五輪。子どもたちの動員は中止になりましたが、まやかしの「バブル」や大量廃棄等々の問題がありつつも、一過性のものとして押し流されていきました。必死の医療従事者や現場をよそに政府が発した「自宅療養」という棄民政策は、人々をさらなる不安と閉塞感に陥ただけでした。その結果が、自傷・他傷の頻発する様々な事件と、変化に希望が見いだせないまま現状維持とした衆議院選挙の投票行動なのでしょう。

パンデミック後は、世界が違うステージになると言われています。根本的な社会変革の提案が発せられています。本当に必要なのは、日常生活を支える政治です。市民の暮らしを支えることは「公」の責任です。保健医療も、教育・福祉も、生活インフラやごみ・環境も、人手をかけて質の良いサービスにするには公のバックアップが必要。気候危機や格差拡大への対処は、目の前の一歩からです。

一人ひとりが大切にされること、生きて良いと思える場がある事、それが人権尊重であり、多様性と包摂的社会的基礎です。だれもがその人らしく生きられる社会をめざして、つながりあい支え合いながら、コロナ後の社会に向けて、いっしょに動き出してみませんか。

## ■12月議会報告

◆補正予算(第11号) 10億5,263万8千円に賛成。

- ・定期利用保育を公設民営。保育料月3万一律は利用者のニーズに合わず制度設計変更を求める。
- ・学童保育分室二小+井口小、五小、中原小の3カ所で校舎内に新設。
- ・子どもの居場所事業、六小の普通学級にシャッター付ロッカーを設置し、放課後こどもクラブに活用。学校ではない第3の居場所の確保が必要と指摘。
- ・井口グラウンド、汚染土壌の掘削撤去費用。
- ・市債繰上償還、防災公園整備のうち6億円を返済。

## ■厚生委員会

◆市民協働センター指定管理者の指定に反対。宗教・政治活動を排除する条項があるが、誰が判断するのか。公の施設なので市長の責任との答弁がない。市の派遣職員による現場丸投げ実態は問題。

◆補正予算(第10号) 10億9,459万4千円に反対。

- ・マイナンバーカード交付体制強化; マイナポイント給付事業によるカード取得者増加に対応するための体制強化は不要な事業。
- ・子育て世帯への臨時特別給付金; 子ども1人10万のうち年内の現金5万円分の事業化は不十分。



◆補正予算(第12号) 35億8027万9千円に賛成

- ・子育て世帯への臨時特別給付金; 年内一括10万
- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金; 10万円

◆職員の期末手当減額の給与条例改正に反対。

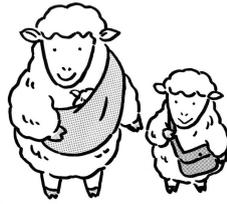
昨年に引き続き非正規の会計年度任用職員も0.1ヶ月減額。基本が低い中の減額で影響が大きい。

◆市長等常勤特別職の期末手当減額は賛成

◆議員の期末手当減額は賛成。

## ■まちづくり環境委員会

◆**自転車駐輪場の指定管理者の指定**。民間から移管され禅林寺第4駐輪場設置。(株)まちづくり三鷹に他と合せて指定管理。**賛成**。



## ■文教委員会

◆**川上郷自然の村指定管理者の指定**。本会議場で質疑して**賛成**。

■**国立天文台周辺のまちづくり**、各常任委員会へ報告。浸水地域の**羽沢小学校**を天文台北側敷地へ移転。**大沢台小学校と合築、統廃合**。西部市政窓口、西部図書館、学童保育所等の合築区も併せて検討する大規模な再開発・公共施設再編整備計画。1月に大沢地区で「説明会とパネル展示」開催予定。

## ■野村の一般質問

①**ジェンダーギャップ解消策**として、男女平等行動計画の目標指標の管理職、審議会等の女性割合と女性交流室の利用率を確認。答弁は従前通り。再質問で、アンコンシャス・バイアス(無意識の差別)の研修を実施予定と答弁。もう少ししっかり取り組んでほしい。

②**個人情報漏洩**について。調布市で外環事業者との間で個人情報漏洩が起きたことから、三鷹市でも点検すべきと問う。条例に則って行なっていると答弁。

③市の**東京外環助言者会議**を、地質・地下水の専門家をを入れて再編し、住民の安全確保を図るべきと問う。助言者会議はまちづくりに関する会議であり、調査は事業者の責任と従来と同じ答弁で残念。

—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*

★11/26 地方X国研修会、スタッフ参加。

★12/11 **又エックワークシヨップ**「少数派女性議員へのいじめ・ハラメントはこれだ！-会員アンケート中間報告-」にスタッフとして参加。

★12/11 **イルミネーションRE 100inみたか**。中央防災公園で再生可能エネルギーのアピール。

★12/19 **LGBT自治体議員連盟研修会**に参加

★12/24 **福島原発震災情報連絡センター**、放射能副読本についての文科省・経産省交渉。

★12/25・26 **女性による女性のための女性相談会@大久保公園**。スタッフ相談員として参加。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No. 145

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-33-7-401

Tel:090-7254-2652 Fax:0422-72-2425

E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net

Url: http://www.nomura-yoko.net

郵便振替口座: 00160-2-335606



## ■陳情

★まちづくり環境委員会付託「**三鷹市の温暖化対策加速**」は全員賛成で採択。

★まちづくり環境委員会付託「**地域的な包括的経済連携(RCEP)から撤退**することを求める意見書提出」はいのち・共産のみ賛成で**不採択**。

## ■意見書・決議

★**野村提案「文通費の使途公開、支出基準の明確化、交換規程の整備等を求める意見書」**可決。21:5令和のみ反対。

★野村提案「**会計年度任用職員制度の見直し**を求める意見書」は、いのち・共産・民主・都ファ賛成、令和・自民・公明・つなぐ反対 12:14で**否決**。

★**嶋崎議員提案「障害福祉サービスからの高齢者排除を改めることを求める意見書」**は、いのち・共・民・公・都賛成、令・自・つ反対 16:10で**可決**。

★**大城・嶋崎提案「小笠原諸島の海底火山噴火による軽石被害救済を求める決議」**は、いのち・共・民・自・都・つ賛成、令・公反対 18:9で**可決**。

\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*

## ★外環道事業・工事に関わる行動

**12/22午前; 国交省事業中止署名提出院内集会**、2月提出と合せて国7,013筆、都6,988筆、合計14,001筆



提出。市民による外環道路問題連絡会・三鷹の外環計画中止署名第3次提出は、総数45,662筆。質疑応答では、トンネル技術検討委員会ガイドラインに批判続出。国交省は不十分な答弁に終始。



**午後; 東京都提出懇談**。担当課長に署名提出、計画認可した都としての責任を問う。

★12/12 **市民外環・三鷹総会**

★12/18 **外環訴訟支える会4周年記念集会**

★12/23 **外環工事差止仮処分は審尋終結**。

★12/24 **NEXCO東日本トンネル施行等検討委員会記者会見**。再発防止策を公表し、年明け説明会を行なうとした。

★12/28 **山添拓議員の国交省レク**に同席。再発防止策は施工のみで、地表への影響測定は不十分なままなのに、**大泉と中央は再稼働**予定。大深度認可審査は地表への影響について関知しない、工事局の問題と逃げた。大問題!



